

## 平成28年度 第7回下野市教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 平成28年10月20日(木) 午後1時30分～午後3時00分
- 2 場 所 下野市役所3階 教育委員会室
- 3 出席委員 委員長 永山伸一  
職務代理者 三橋明美  
委員 熊田裕子  
委員 石嶋和夫  
教育長 池澤勤
- 4 出席職員 教育次長 野澤 等  
教育総務課長 坪山 仁  
学校教育課長 海老原忠  
生涯学習文化課長 増渕晴美  
スポーツ振興課長 北條 均  
学校教育課指導主事 稲見雄太  
教育総務課課長補佐 伊澤仁一  
教育総務課主幹 古橋栄一
- 5 傍聴人 なし
- 6 議 案  
議案第35号 平成29年度小・中学校職員定期異動における下野市の重点目標について
- 7 報告事項  
(1) 教育委員会後援等の承認について  
(2) 寄附の受け入れについて  
(3) 平成28年度中学校新人大会の主な結果報告について  
(4) 平成28年度学校教育サポートセンター上半期事業報告について  
(5) 第11回下野市民体育祭運動会(石橋地区・国分寺地区)及び第8回南河内地区スポーツフェスティバルの結果報告について

永山委員長	<p>あいさつ 議事録署名委員の指名 永山委員長及び熊田委員 前回議事録の承認について、議事録の確認をお願いする。訂正等があれば発言を求める。</p>
増淵生涯学習文化課長	<p>P 9 の報告事項（6）について、発言者が私となっているが、海老原学校教育課長の発言であるので、訂正をお願いしたい。</p>
永山委員長	<p>他に訂正等はあるか。（特になし） それでは、ご指摘があった部分を修正した上で、前回議事録を承認してよろしいか。（全委員承認） 議事録はこのとおり承認とする。 次に、教育長の報告を求める。</p>
池澤教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月6日に「下都賀地区特別支援教育振興大会」が栃木市都賀文化会館ハートホールで開催された。</li> <li>・ 10月8日に「下野市歴史文化基本構想シンポジウム」を本庁舎会議室にて開催し、76名の参加があった。シンポジウムでは、当該基本構想策定委員会委員長である橋本澄朗氏による「とちぎの文化財と史跡の活用について」と題する基調講演を行った。</li> <li>・ 10月9日にあいにくの雨にも関わらず「第11回下野市民体育祭運動会（国分寺地区）」及び「第8回南河内地区スポーツフェスティバル」が予定通り開催された。石橋地区の下野市民体育祭運動会は順延となり、10日に開催された。</li> <li>・ 10月11日に「第3回南河内中学校区小中一貫教育推進協議会」を本庁舎で開催した。同日、下都賀地区市町教育委員会連合会情報交換会が栃木市ニューアプロニーで行われ、菊地良夫氏が野木町の新教育長に就任された旨の報告があった。</li> <li>・ 10月12日に防犯功労者表彰式がグリムの館にて開催された。</li> <li>・ 10月13日に下野市教職員協議会との対市交渉が本庁舎で行われた。</li> <li>・ 10月14日に今年度の児童表彰式がスタートし、石橋北小学校39名、細谷小学校3名にメダルと賞状を授与した。今年度の表彰対象児童（6年生）は全部で540名となる。</li> <li>・ 10月15日に「しもつけ市民芸術文化祭2016」が国分寺公民館にて開会された。10月30日まで行われる予定である。</li> <li>・ 10月16日に「生涯学習情報センターまつり」が生涯学習情報センターとグリーンタウンコミュニティセンターで開催された。同日、栃木SCとの下野市民デーが栃木県グリーンスタジアムで、認知症サポーター4,000人達成記念イベントが南河内公民館大ホールで開催された。</li> <li>・ 10月18日に本庁舎で復曲能「宍戸」公演実行委員会の解散式を実施した。</li> <li>・ 10月19日に「市長のいきいきタウントーク」がスポーツ交流館にて行われ、今後は21日にゆうゆう館、22日に薬師寺コミュニティセン</li> </ul>

<p>永山委員長</p>	<p>ターにて行われる予定である。          質疑等はあるか。(特になし)          議事に入る旨を伝える。          議案第35号「平成29年度小・中学校職員定期異動における下野市の重点目標について」説明を求める。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p>【説明要旨】          平成29年度小・中学校職員定期異動における下野市の重点目標については、栃木県教育委員会及び下都賀地区市町教育委員会から示された「定期異動方針」並びに「異動方針の運用」に基づき、6つの重点目標(案)を設定させていただいた。県と下都賀地区の定期異動方針表題「義務教育学校」が新たに追加されたが、本市の重点目標については、義務教育学校が開設されていないので、昨年同様の表題とさせていただいた。          以下、本市の6つの重点目標(案)について説明を行う。項目については、昨年と同様の内容になっている。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。          項目2に免許教科別教職員構成の均衡化を図るとあるが、具体的にはどのような内容になるのか。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p>中学校は指定教科で指導を行っているので、教職員の配置については配慮されているところであるが、小学校においては、1つの教科に集中してしまう場合があった。可能な限り均衡化を図っていきたいと考えている。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>他に質疑等はあるか。(特になし)          このとおり決定してよろしいか。(全委員承認)          議案第35号は原案どおり決定する。          それでは、当該議案は承認されたため、表題にある(案)の文字を消していただきたい。          次に、報告事項に移ることを告げる。          (1) 教育委員会後援等の承認について説明を求める。</p>
<p>坪山教育総務課長</p>	<p>【説明要旨】          「下野市教育委員会後援等承認一覧」に基づき、10月現在で7件の承認をした旨の報告を行う。7件は全て後援(2件は教育長賞交付)であり、うち4件は新規事業である。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。          No.1の家事家計講習会について主催団体の小山友の会とはどのような団体なのか。</p>
<p>坪山教育総務課長</p>	<p>小山友の会は全国友の会の1支部として活動しており、生活全体にわたる身近な問題と取り上げながら、良い家庭をつくり、社会へ貢献することを目的とした団体である。主に小山市や野木町などで活動している。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>他に質疑等はあるか。(特になし)          次に、(2) 寄附の受け入れについて説明を求める。</p>

坪山教育総務課長	<p><b>【説明要旨】</b>          小山モラロジー事務所からの指定寄附があったため、青少年健全育成資金として生涯学習文化課の図書購入費へ充当する旨の報告を行う。</p>
永山委員長	<p>質疑等はあるか。          今回の寄附とは別の話になるが、これまで教育委員会にふるさと納税という形で寄附が挙がってきたことはあるのか。</p>
野澤教育次長	<p>ふるさと納税の場合、納税の軽減措置や自治体によっては特産品などの恩恵があると思う。ふるさと納税の在り方には疑念を感じる。</p>
永山委員長	<p>本市においては、財政課でふるさと納税の受け入れを行っている。教育委員会ではふるさと納税は扱っていないため、指定寄附のみ報告させていただいているところである。</p>
海老原学校教育課長	<p>他に質疑等はあるか。(特になし)          続いて、(3)平成28年度中学校新人大会の主な結果報告について説明を求める。</p>
永山委員長	<p><b>【説明要旨】</b>          「H28年度中学校新人大会(県大会)の主な成績一覧表」に基づき、10月14日～16日にかけて行われた県大会に出場した部活動を中心に、学校毎の戦績について説明を行う。</p>
稲見指導主事	<p>質疑等はあるか。(特になし)          次に、(4)平成28年度学校教育サポートセンター上半期事業報告について説明を求める。事業報告の詳細については、担当である稲見指導主事から説明をお願いします。</p>
	<p><b>【説明要旨】</b>          「学校教育サポートセンター上半期事業報告」に基づき、教育相談活動と適応支援活動各々について事業報告を行う。</p> <p>○教育相談活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期における相談ケース数は98件であり、新規相談は小学2年生、小学6年生が多い。継続相談は全体の約4割を占めていることから、サポートセンターの必要性、信頼度が高まっていると考えられる。</li> <li>・相談主訴の傾向は、年長児の修学に関する事、発達に関する事、不登校・行き渋りの順に多く、全体の82%を占める。</li> <li>・相談総数は368件であり、前年度上半期と比較して88件増加している。相談総数の増加の要因として、支援を要する子の増加だけではなく、サポートセンター職員の丁寧な対応や適切な支援による保護者との信頼関係の構築、確実な情報交換による組織的な対応によるものであると考えられる。</li> <li>・相談ケース数98件は、全児童生徒数に対する1.3%である。学校園別で見ると、石橋地区に偏りがあるが、センター立地にも関係があると考えられる。</li> </ul>

	<p>○適応支援活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた生活を送ることで充実感を得ることができたり、様々な行事を通して人との関わりに慣れてきたり、図書館活動や集団活動等を通して自己有用感を感じることができたことで、約半数の児童生徒は、在籍校や適応指導教室に概ね登校できた。</li> <li>・相談部との連携により保護者の悩み等の支援が充実し、保護者会の実施による児童生徒の支援についての情報共有ができたため、サポートセンター職員と保護者との連携が密になった。</li> <li>・個室対応を必要とする場合が増えたため、個人スペースを確保する手だてを考えたり、今まで以上に在籍校との連携を図り、児童生徒との関係を途切れないようにする等、ニーズに応じた対応が急務となっている。</li> </ul>
<p>永山委員長 石嶋委員</p>	<p>質疑等はあるか。</p> <p>資料1「学校園別相談ケース」及び「学校別相談総数」について、小規模特認校ではない緑小学校の相談総数が0件になっているが、学校独自で別のカウンセリング等を実施しているのか。</p>
<p>稲見指導主事</p>	<p>学校独自の取組は確認していないが、学校自体が落ち着いており、不登校児の数を見てもほとんどいない状況である。特別支援コーディネーターを中心にスクールカウンセラー等も有効に活用しており、学校内での教育相談が充実しているようである。</p>
<p>石嶋委員</p>	<p>不登校の生徒で、家庭訪問等を行っても会うことができない子どもはいるのか。また、子どもに会えないケースで保護者とは会うことはできているのか。</p>
<p>稲見指導主事</p>	<p>9月の出席状況を見ると、適応指導教室と在籍校のどちらにも登校できていない生徒が数人いるが、サポートセンターの相談員が家庭訪問をした際には、本人又は家族の方とは必ず会うことができている。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>教育相談活動ケース数の学年傾向について、小学校2年生が多いとの報告があるが、特定の学校の小学校2年生が多いのか。</p>
<p>稲見指導主事</p>	<p>特定の学校という訳ではなく、各学校から話を聞く限り、この学年全体が落ち着かない傾向にあるようである。今後、不登校児童生徒数とこの学年との関係性については注意してみなければならぬと考えている。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>資料2の適応指導教室運営状況報告書について、黄色で色付けされている部分は何を示しているのか。</p>
<p>稲見指導主事</p>	<p>生徒が適応指導教室を利用していなかったということを示している。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>他に質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて、(5)第11回下野市民体育祭運動会(石橋地区・国分寺地区)及び第8回南河内地区スポーツフェスティバルの結果報告について説明を求める。</p>
<p>北條スポーツ振興課長</p>	<p><b>【説明要旨】</b></p> <p>各地区において10月9日に予定されていた運動会(フェスティバル)は、雨天のため9日と10日に渡って実施された。(石橋地区は1日順延、南河内</p>

<p>永山委員長 熊田委員</p>	<p>地区は一部の競技を順延) 以下、3地区の参加人数や順位等は別添報告書を参照していただきたい。 質疑等はあるか。 来賓ということで出席させていただいたが、観覧だけで参加商品をいただき、恐縮してしまっただ。経費がかかることであるので、観覧の方の分は用意しなくて良いのではないかと思う。</p>
<p>北條 淑 一 振興課長</p>	<p>参加人数が予測できないことから、多めに用意しているところがあり、余った分を配付させていただいている。来賓用としては、特別に用意はしていないので、ご了承いただきたい。今後は、なるべく余りが出ないようにしていきたいと思う。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>南河内地区の参加者について、軟式野球が11とあるが人数ではなくチーム数ということでよろしいか。</p>
<p>北條 淑 一 振興課長</p>	<p>ご指摘のとおりである。参加者とあるが、団体種目はチーム数ということで解釈していただきたい。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>他に質疑等はあるか。(特になし) 最後に、事務局より連絡事項等があれば説明を求める。</p>
<p>古橋教育総務課主幹 坪山教育総務課長</p>	<p>平成28年度市町村教育委員研究協議会の日程等について説明を行う。 前回の教育委員会でお知らせした教育福祉常任委員との懇談会について、懇談会のテーマが決定したため説明を行う。 質疑等はあるか。(特になし) 次回の教育委員会は11月17日(木)の午後3時00分の予定とする。 本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後3時00分閉会。</p>